

令和5年度意見交換会（第2案）

目的

聞こえない・聞こえにくい方が救急等の緊急時でも地域で安心して暮らせるよう、市民や消防・救急、福祉等の関係者が、聴覚障がい当事者が緊急時に手話をはじめとするコミュニケーション面での的確な支援を得られるための方法（環境）や、聴覚障がい当事者との手話を含めたコミュニケーションについての理解を深めることを目的とする。

このことから、市民、ろう者、民生児童委員、地域包括支援センター等が一堂に会し、それぞれの立場から認識を共有するための意見交換会を実施する。

実施内容

- 1 開催日：令和6年3月23日（土）、3月30日（土）のいずれかの日
（3時間程度）※休憩15分を含む。
- 2 参加者：市民対象（50名程度）
関係者は、ろう者、手話通訳者、民生児童委員、地域包括支援センター、障害サービス事業所、行政（消防・救急）、障がい者関係部署、旭川市社会福祉協議会ボランティアセンター
- 3 開催場所：おびつた体育館もしくは会議室（予定）
- 4 開催内容
 - (1) 緊急時におけるろう者の支援の講演（各15分で計30分を想定）
 - ・「緊急時における経験と手話の必要性について」
講演者：ろう者
内 容：ろう者から緊急時の体験とそれにつながり手話の必要性を伝える
 - ・「緊急時における支援について」
講演者：行政（消防・救急）職員
内 容：緊急時における心がけや緊急時における支援はどのようなものがあるのか等を説明してもらう。
 - (2) 緊急時に関するワークショップ（2時間程度）
 - ・各6名ずつ8組程度で構成（市民、ろう者、関係者等を混成）
 - ・ワークショップでの交流、話し合いの発表
 - ・コーディネーター：旭川市手話施策推進会議 栗田会長を想定
 - (3) 参加者からの感想・質疑応答（15分程度）